

第2章 高德線（徳島～佐古～高松）、 徳島線（貞光～佐古）

第1節 概要

2023年11月20日（月）からの6泊7日の徳島線・高德線仕上げの旅、天候にも恵まれ、徳島線（貞光～佐古：営業キロ48.1km）と高德線（徳島～佐古～高松：74.5km）を全駅舎立ち寄りにより踏破できる。これで、JR四国が、牟岐線（阿波海南～徳島）、高德線（徳島～佐古～高松）、予讃線（高松～多度津）、土讃線（多度津～琴平～阿波池田～高知～窪川）、予土線（窪川～宇和島）、予讃線（宇和島～松山～今治～観音寺～多度津）、土讃線（多度津～琴平～阿波池田）、そして徳島線（阿波池田～貞光～佐古）を歩き終え、**JR四国一筆書き**が完成する。これで、通算営業キロは**1万5千245km（活動日数752日、日本の鉄道の55.0%、地球円周の38.1%）**となる。ラッキーにも**宿泊付きの旅（6泊以上）で傘なし**は、23年半のウォーキングで初の体験で、感動も一入となった。同時に、待望の”日本横断歩きに旅”の第32編（高德線・牟岐線・徳島線・鳴門線）が執筆できる環境となり嬉しい限りだ。



※高松駅（2023年11月25日（土）17時5分）

今回の旅は、鉄道つたい歩きで苦しい場面にも遭遇したが、沢山の方との出会い・再会に加え想定外の観光スポットなどにも立ち寄りができ最高の6泊7日の旅となった。天や神、地元の人、そしてカッシー館を支えてくれている人などに感謝の気持ちで一杯となる。

今回の旅の特筆すべき点は次の通り。旅は何回してもいいですね。

①次から次と坂道が登場する大坂峠越え（今回の旅で最も難所）には苦勞したが、家内の運轉で本年10月八十八ヶ所巡り（1番札所～10番札所）で通った道筋であることを思い出しゆったりした気分で臨むことができる。しかし、秘境駅”阿波大宮駅”への道筋は苦勞したが、地元の人々の応援を得て無事踏破できる。山々の頂上付近からの風景は最高であった、



※大坂峠越え、阿波大宮駅

②幼少時代に記憶のある神前駅への道筋は山や川が前方を立ち塞がり苦勞した。ここでも地元の人々の応援を得て無事踏破できる。

③幼少時代、遠足などで立ち寄った白鳥神社や志度寺（86番札所）を60余年の歳月を経て参拝でき感無量となる。



※白鳥神社、志度寺

④幼少時代時代、近所の方と一緒に毎年行った”津田の松原”海水浴場への立ち寄り感無量となる。



※琴林公園（日本の渚百選のひとつ）津田の松原

⑤JR 栗林駅界隈にある母校”高松一高”（最近新校舎・体育館完成）に立ち寄りができ感無量となる。



⑥香川県の偉人”平賀源内記念館”や”平賀源内旧邸・薬草園”は最高であった。



※平賀源内像、平賀源内旧邸

⑦ユニークな学駅に立ち寄ることができる。



⑧親切な方（10番札所切幡寺界限在住）に阿波川島駅から川島城まで車で案内頂く。



⑨阿波池田駅界限の“お好み焼き” “つくし” で2年3か月振り旧交を温める機会を得る。





※JR 四国一筆書きの達成を願って（2023年11月20日（月））

⑩酒場や道筋などで素晴らしい出会いがあった。下記はその一部。





※徳島駅界限”安兵衛”、栗林公園界限（90歳過ぎても元気でボランティア活動）



※ホテル No1 高松界限の弁慶で JR 四国一筆書き達成を祝して（地酒金陵を堪能）

⑪九ヶ条からなる”こだわり鉄道つたい歩き”に登場する第5条（先憂後楽の考え方）の重みをひしひしと感じる。この考え方に基づき、当初「貞光～学」「阿波大宮～佐古」などを前倒し、それぞれ「貞光～阿波川島」「讃岐相生～佐古」に変更する。この考えが功を奏し、上記にご紹介した場所に立ち寄ることができる。諺”早起きは三文の徳”を強く感じる旅でもあった。



※日本一長い商店街（丸亀町商店街前）

第2節 旅プラン

徳島・高徳線の旅（営業キロ 122.6km）

○2023年11月20日（月）晴れ

ひかり 505号 新横浜 9:21 → 岡山 13:02

南風 13号 岡山 14:05 → 阿波池田 15:22

阿波池田泊（ココクロス：0883-72-0011）



○11月21日(火)快晴

阿波池田 5:47 → 貞光 6:16

貞光～小島～穴吹～川田～阿波山川～山瀬～学～阿波川島 (26.8 km)

阿波川島 14:43 → 徳島 15:26

徳島泊 (東横イン徳島 : 088-657-1045)



○11月22日(水)快晴

徳島 8:11 → 阿波川島 9:03

阿波川島～西麻植～鴨島～麻植塚～牛島～下浦～石井～府中(こう)～鮎喰(あくい)

～蔵本～佐古～徳島 (22.7 km)

徳島泊

○11月23日(木) 晴れ

徳島 5:51 → 讃岐相生 6:31

讃岐相生～阿波大宮～板野～阿波川端～板東～池谷～勝端～吉成～佐古
(25.5km)

佐古 17:23 → 徳島 17:26

徳島泊

○11月24日(金) 曇り／晴れ

徳島 5:51 → 讃岐相生 6:31

讃岐相生～引田～讃岐白鳥～三本松～丹生(にぶ)～鶴羽～讃岐津田
～神前(かんどぎ)～造田(26.3 km)

造田 16:19 → 高松 17:06

高松泊(東横イン高松:087-821-1045)



○11月25日(土) 晴れ

高松 7:17 → 造田 8:05

造田～オレンジタウン～志度～讃岐牟礼～八栗口～古高松南～屋島
～木太町～栗林～栗林公園北口～昭和町～高松(21.3 km)

高松泊(ホテルNo1.高松:087-812-2222)



○11月26日（日）晴れ

マリンライナー26号 高松 11:10 → 岡山 12:02

ひかり 510号 岡山 12:36 → 新横浜 16:24

第3節 1日目：11月20日（月）；阿波池田への移動 晴れ

2023年11月20日（月）晴れ、JR四国一筆書きの初日は、阿波池田駅までの移動とする。主な目的は、2021年8月お好み焼”つくし”で知り合った仲間と旧交を温めるため。加えて、明日のアクセスを考えると徳島駅に比べ阿波池田駅の方が効率的と考えたからである。ビジネスホテルに到着するや否や、ラッキーにも5,000円の商品券を頂く。この商品券をデイリーマートで有効に利用させて頂いた後、阿波池田商店街にあるつくしに17時過ぎ参上。



※南風で阿波池田駅に移動



※デイリーマートでの買い物後、つくしに移動

暫くして、当時のメンバーが登場する。2年余振りの再会でつもり話に花が咲く。コロナ禍が多少解消されたこともあり、前回に比べ、月曜日にも関わらず、外国人を含めた来客が多数あり、ママさんは忙しそうであった。その中で心温まる対応を頂く。あつという間に楽しいひと時が過ぎ去る。いつの日か阿佐海岸鉄道や土佐くろしお鉄道（ごめんなはり線）をつたい歩きする際に、是非つくしにもお邪魔したものだとは心に誓ってこの店をあとにする。



※皆で乾杯



※黒霧島ボトルキーブ



※ママさんにカッシーチラシ (Vo162) を店に掲載頂く



※21時過ぎつくしを後にする

第4節 4日目：11月21日（火）：貞光～阿波川島 快晴

2023年11月21日（火）快晴、JR四国一筆書きの旅の二日目は、徳島線の貞光駅から阿波川島駅までの営業キロ26.8kmに挑戦する。当初は阿波池田駅6時37分発の列車を考えていたが、安全面を考慮し、5時47分の始発に急遽変更する。結果、この前倒しが功を奏し（当初学駅が一駅先の阿波川島に変更できる）、当初の旅が実現できる他、後述する予定を超えた観光もできる。加えて、徳島駅から阿波川島駅止まりの列車で対応でき、東横イン徳島で朝食もとれるダイヤで移動できる。「早起きは三文の徳」を強く感じる旅となった。



※ココクロスを後にする



※阿波池田駅



※いざ貞光駅！！

本日の各駅舎立ち寄り時刻は次の通り。

貞光(6:21)～小島(7:58)～穴吹(9:28)～川田(10:47)～阿波山川(11:44)～山瀬(12:29)～学(13:23)～阿波川島(14:43)

①5時47分の始発(阿南行)のため、寝過ぎさないよう用心して就寝する。しかし、あまり熟睡できず。朝食を済ませ、辺りは暗闇の中阿波池田駅に向かう。引き続き暗闇の中、貞光に向けて出発する。運よく、貞光駅到着までには辺りは少し明るくなる。この駅は2021年8月10日(火)貞光～阿波池田を踏破の際、立ち寄った駅舎であったので懐かしくなる。6時30分、天満宮で本日の安全を祈願する。その先に貞光郵便局や自衛隊三好出張所がある。6時37分より万歩計で176歩ある貞光橋(貞光川)を渡る。6時50分、鉄道を跨ぎ、国道192号線に合流。しかし、この国道から枝分かれした、線路に近い道筋を歩く。6時55分、右手に徳島行きの列車が通過して行く。7時5分、大田小学校前を通過。大谷橋を渡り、再度国道192号線に17時15分合流する。ここから小島駅への路は遠かった。7時30分、つるぎ町から美馬町となる。7時55分、JR線を跨ぐ陸橋を越える。このため大回り(10分位ロスタイム?)を余儀なくされる。やっと小島駅には7時58分到着。



※貞光駅



※天満宮、自衛隊三好出張所



※壁画ある通りを經由して貞光橋



※小島駅への路



※小島駅

②8時34分、三島郵便局前を通過。8時55分、池方辺りで腹痛を起こすが、運よく美馬保健所（9時17分）駆け込み解消する。穴吹駅には9時28分到着。この界限は、幼少時代遠足などで来たことがあるが、60数年前の記憶は全く忘却していた。この駅からは徳島行き列車（1時間に1本位から2本位に）は多くなる。



※三島郵便局、美馬保健所への路



※美馬保健所



※穴吹駅

③貞光駅から初めてコンビニ（セブンイレブン）に遭遇する。すなわち、徳島への通勤・通学圏内となる。9時44分、美馬市役所前を通過。9時50分、徳島38 km、吉野川市18 kmと記した道路標識前を通過。9時51分、万歩計で352歩ある穴吹川を渡る。10時5分、只今の気温は10℃とあった。10時21分、美馬市から吉野川市となる。10時36分、徳島35 km、鴨島15 kmと記した標識前を通過。暫く歩いた先に川田駅（10時47分）があった。丁度阿波池田方面の列車がやって来る。



※川田駅への路



※川田駅

④11時31分、191歩ある山川橋（川田川）を渡る。11時44分、阿波山川駅に到着する。この駅でも、穴吹行の列車がやってくる。



※阿波山川駅への路



※阿波山川駅

⑤12時、香川県に本店があるスーパー“マルナカ”山川店前を通過。12時3分、徳島31km、吉野川市11kmと記した標識前を通過。12時10分、至る所で見かけた大根畑を通過。12時13分より、224歩ある蛍橋を渡る。12時23分、山瀬郵便局前を通過。山瀬駅には12時9分到着。丁度、徳島方面の列車がやって来る。



※大根畑、川島郵便局



※山瀬駅

⑥12時38分、山瀬第1踏切を横切り、鉄道の右側となる。12時41分、山崎八幡宮があった。12時50分、忌部（いんぺ）踏切を横切り、鉄道の左側となる。生涯あやかりたい”学”がつく学駅には13時23分到着。この駅には若いカップルの英米系の若いカップルがいた。リュックがホームの椅子あった。この界隈をウォーキングしたのだろうか。勇気を出して質問すべきだったができず、情けない。挨拶を交し、この駅を後にする。今後は「英語版のカッシーチランを用意する必要がある」と痛感する。そうすれば、カッシー館を外国人にもPRできると。そう言えば、新幹線の往路とも隣には外国人であった。



※山崎八幡宮、学駅への路



※学駅

この駅から少し行った先で、道路掃除をしている私より少しお姉さんの方（尾池シテイハイツ経営）と世間話する機会を得る。カッシーチラシを渡し、私のウォーキングについてPRする。私が「香川県三木町井戸出身である」と紹介すると更に親しみを感じて世間話が盛り上がる。10分位おしゃべりし、この場を後にする。当初、学駅から阿波阿川島駅までは路がややこしいため、学駅でのパスを当初考えていたが、「鉄道つたい歩きした先に阿波川島駅がある」との情報が強い味方となり、3.5 km先の阿波川島駅を目指すことにする。この方との出会いが、「**今回の旅が成功するカギとなった**」と痛感。



※世間話した界限

⑦鉄道の左側をつたい歩きする。14時18分、県道244号線川島町桑村と記した標識前を通過。遠くに川島城が見えてくる。それを目掛けて直進する。ナビで検索したところ300m位行き過ぎていた。運よく、近隣の方に出会い、リカバリーを円滑に対処できる。300m位戻った先に阿波川島駅（14時34分）があった。9分の待ち合わせで、徳島行きの列車に乗ることができる。





※阿波川島駅への路



※阿波川島駅

⑧列車に乗り、明日歩く道筋を学習しながら徳島駅に向かう。牛島駅と下浦駅との間と府中（こう）駅と鮎喰（あくい）駅との間にそれぞれに川が横たわっていて、歩くのは負荷を要すると痛感。そんなことを考えっているうちに徳島駅に15時26分到着。徳島駅は、長男家族と10数年位前に旅行（アンパンマン号乗車）で訪れた他、本年3月にも牟岐線や鳴門線を踏破した際立ち寄ったので馴染み深い駅であった。今回初めて予約できた東横インには15時45分到着。汗を流し、大相撲を観戦後、前回の旅でも利用させて頂いた”徳島ラーメン”専門店に立ち寄り、夕食とする。夕食後は阿波池田で購入した土佐鶴とつまみで祝杯をあげる。明日はホテルで朝食を済ませ、徳島8時11分の列車で移動すればよいので、昨夜と大きく異なり枕を高くして就寝することができる。



※徳島駅



※徳島ラーメン、土佐鶴で祝杯！！